

令和 4 年度全国学力・学習状況調査について

令和4年度全国学力・学習状況調査について

1 調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日

令和4年4月19日（火）
（後日実施は、5月20日（金）まで 全体の集計には反映されない）

3 調査対象

国・公・私立学校の小学校・特別支援学校小学部 第6学年児童
国・公・私立学校の中学校・中等教育学校・特別支援学校中学部 第3学年生徒
原則として全児童生徒

4 調査内容

(1) 児童生徒に対する調査

①教科に関する調査（国語，算数・数学，理科）

ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査問題では、上記アとイを一体的に問うこととする。

②質問紙調査（学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関するもの）

小学校・中学校ともに75問

・希望した学校の中で抽出された学校はオンラインで実施（県内20校）

(2) 学校に対する質問紙調査

小学校82問，中学校80問

・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等

5 本県における実施状況（公立学校）

(1) 調査対象児童生徒の在籍する学校数・児童生徒数

・小学校 160校（市町村立：159校，特別支援学校1校）
約5,700名

・中学校 79校（市町村立：76校，県立：3校〔中学校2校，
中等教育学校1校〕）
約5,600名

(2) 調査を実施した学校数

・小学校 158校 ・中学校 79校

(3) 調査を実施できなかった学校数

・小学校 2校 ・中学校 0校

6 文部科学省による調査結果の提供

- (1) 都道府県教育委員会
- (2) 市町村教育委員会
- (3) 学校

7 文部科学省による調査結果の公表

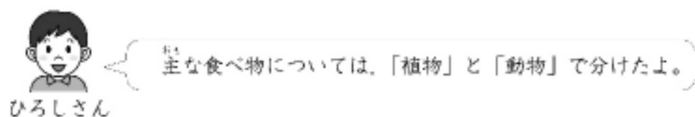
- (1) 時期 7月末を予定
- (2) 内容 ・国全体の状況及び国・公・私立学校別の状況
・都道府県ごとの公立学校全体の状況


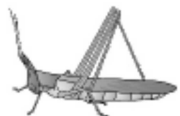


令和4年度全国学力・学習状況調査 特徴的な問題例

小学校理科 1 (5)生命に関する問題

4種類の昆虫の育ち方と食べ物を友人らとまとめた表を基に、「どのような問題が見つかるか」を考えさせる問題

9月になり、ひろしさんたちは、ほかにも調べていたこん虫を下の表のように4つのグループに分けました。



		〈こん虫の育ち方と主な食べ物〉	
		育ち方	
		さなぎになる	さなぎにならない
主な食べ物	植物	1 モンシロチョウ  幼虫：キャベツの葉など 成虫：花のみつなど	2 ショウリョウバッタ  幼虫：ススキの葉など 成虫：ススキの葉など
	動物	3 ゲンゴロウ  幼虫：イトミミズなど 成虫：イトミミズなど	4 シオカラトンボ  幼虫：イトミミズなど 成虫：ハエなど

(5) ひろしさんたちは、左の表に、さらに調べたこん虫を加えているときに、次のことに気づきました。

【気づいたこと】

- ・幼虫のときにも、成虫のときにも、植物を食べるこん虫がいた。
- ・幼虫のときにも、成虫のときにも、動物を食べるこん虫がいた。
- ・表のこん虫以外で、成虫のときに植物も動物も食べるこん虫がいる。

ひろしさんは、【気づいたこと】をもとに、【問題】を見つけ、解決していくことにしました。どのような【問題】を見つけましたか。下の 1 から 4 までの中から最も適切なものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 表のこん虫以外で、さなぎになるこん虫は、いるのだろうか。
- 2 モンシロチョウの幼虫は、キャベツの葉を食べるのだろうか。
- 3 表のこん虫以外で、幼虫のときに植物も動物も食べるこん虫は、いるのだろうか。
- 4 なぜ、ゲンゴロウの幼虫や成虫は、動物を食べるのだろうか。

中学校国語 2 三 意見文を書く(「先端技術との関わり方」)

【意見文の下書き】に対して、コメントをもらい、それを参考に農林水産省のウェブページにある資料から引用し、スマート農業の効果について書き加える問題

